

作物の良食味を決める 遺伝子の特定と育種利用

キーワード エダマメ、おいしさ、遺伝子



■ 研究概要

エダマメの「おいしさ」を決定する遺伝子を見つけ出し、ブランド力の向上と新品種開発を目指します。

日本で唯一のユネスコ食文化創造都市の地域特性を生かし、個性豊かな地域社会「鶴岡」の持続的な発展形成を最終目標に掲げ、私は地元に豊富に存在する作物に着目した研究を行っています。その中で、地域で守り育まれてきた作物の「おいしさ」に興味を持ち、その「おいしさ」が作られるメカニズムについて、遺伝子レベルの解析をしています。作物のおいしさが、いかにして守り育まれてきたかを、遺伝子を道具として利用し解明することで「陸の豊かさを守り」に貢献するとともに、おいしさの科学的証明によって地域に「住み続けられるまちづくり」に貢献します。



■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・ 良食味エダマメ品種の開発
- ・ おいしさ DNA マーカーの開発と育種利用
- ・ エダマメの食味成分の定量解析とおいしさの評価

星野 友紀 教授 HOSHINO, Tomoki

専門分野：作物育種学

E-mail : thoshino@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

